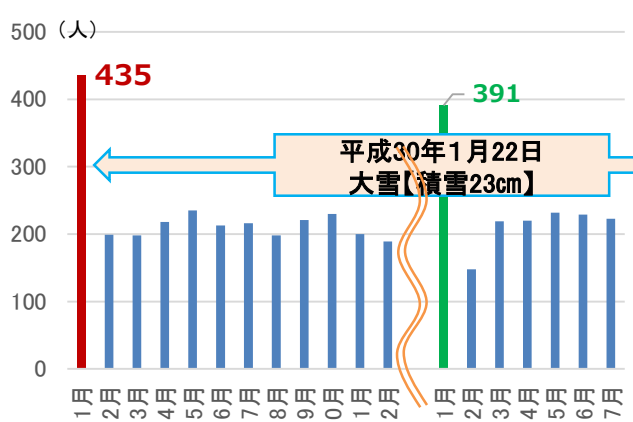


冬季の積雪や路面凍結による転倒災害を防ぎましょう！

👉 令和4年1月6日の積雪(都内:10cm)により、凍結した通路や路面上で転倒による死亡災害が2件発生しました。

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	教育 研究業	教育・研究者	転倒	打ち合わせを行うために敷地内を移動していたところ、前日の雪の影響により凍結した通路で足を滑らせて転倒した。（後頭部を地面に打ち付け、硬膜下血腫となった。）
			50歳代	通路	
			20年以上 30年未満		
2	1月	その他 の事業	警備員	転倒	敷地内を歩いていたところ、前日の降雪により凍結していた路面上で転倒し左後頭部を打った。
			60歳代	通路	
			10年以上 20年未満		

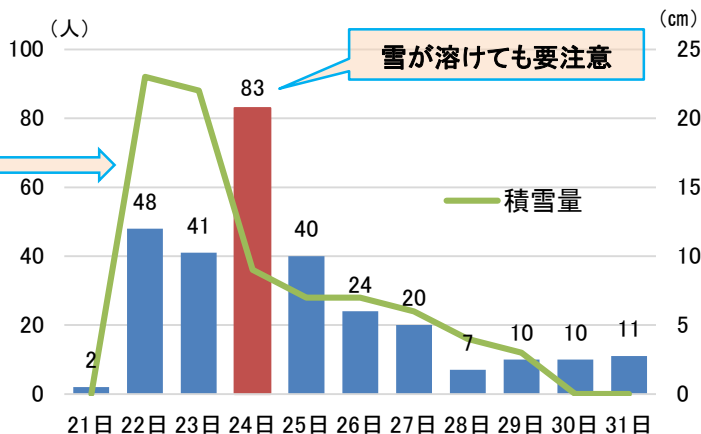
👉 平成30年1月22日(都内:23cm)及び令和4年1月6日の降雪では、積雪や路面凍結による転倒災害が大幅に増えました。また、雪が解けても数日間、路面が凍結した状態が続き、屋外の移動や作業は注意が必要です。



平成30年

令和4年

月別転倒災害発生状況(東京、休業4日以上)



1月下旬日別転倒災害発生状況
(平成30年、東京、休業4日以上)

ポイント1

気象情報の活用によるリスク低減の実施

- 大雪に関する気象情報を迅速に把握し、気象状況に応じた作業を行う

ポイント2

通路、作業場所の凍結等による危険防止の徹底

- 屋外通路や駐車場の除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
- 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去の徹底
- 凍結した路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し

歩幅を小さく、
ヨチヨチ歩く
ペンギン歩きが
理想的！



まずは自主点検を行いましょう

事前の準備は、安全委員会の委員等による職場巡視を実施し、下のチェックリスト等を活用して設備等の点検を行い、必要な改善や労働者の意識啓発を行いましょう。



チェック項目（冬季用）

1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	☐
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	☐
3	安全に移動できるように、十分な明るさ（照度）が確保されていますか	☐
4	作業靴は、作業現場に適したものを選び、定期的に点検していますか（耐滑性のある靴は、雪や氷、粉による滑りには適用していません）	☐
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	☐
6	段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていますか	☐
7	時間に余裕をもって歩行、作業を行っていますか	☐
8	ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか	☐
9	天気予報に気を配っていますか	☐
10	駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意していますか	☐
11	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	☐
12	職場の点検、適切な履物、歩行方法などの教育を行っていますか	☐

冬季前に転倒災害防止対策を行いましょう！

※東京労働局では、

Safe Work TOKYO

を展開しています



安全衛生に関する資料を用意しています

https://jsite.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/news_topics/topics/2017/9_00002.html

冬季も

STOP! 転倒災害

プロジェクト